

視 察 研 修 等 報 告 書

令和5年11月10日

坂井市議会

議長 辻 人志 殿



会 派 名 志政会
報 告 者 古屋 信二

1. 日 時 令和5年10月20日（金）
2. 視察研修先 大阪府大阪市都島区内で開催のNTT 西日本（株）及び㈱マクニカ
共催によるセミナーへの参加
3. 視察研修内容 「次世代モビリティ DAY2023」
産官学有識者における自動運転に関する講演、自動運転 EV バス
の展示、先進事例自治体による講演他
4. 参加者 古屋 信二
同行者 鍋嶋 邦広（創政会）

5. 内容詳細 及び 6. 所見・感想等 【セッション】

①NTT 西日本グループ×マクニカ 自動運転分野における提携と新たな挑戦

NTT 西日本グループとマクニカは、2024 年問題によって懸念されるドライバー不足による路線バスの運行減少等の解決のため、自動運転サービスの社会実装に向けて提携を開始した。本講演では、自動運転分野における提携に至った背景、共創に向けたビジョンについて両者トップが語り大変興味深かった。

②次世代地域交通システムの社会実装実現に向けた今後の展望

NTT 西日本グループとマクニカは、自動運転サービスの社会実装を通じて、社会課題解決および地方創生の実現に貢献するとともに、政府が提唱するデジタル田園都市国家構想実現を目指している。本講演では、両者事業責任者から次世代地域交通システムの社会実装実現に向けた今後の展望について紹介があり大変参考になった。

③まちづくりにおける自動運転の実装プロセスと活用方法

NTT 西日本グループとマクニカでは地方自治体における自動運転の社会実装を全面的に支援している。本講演では、自動運転の最新動向から実装の要件や進め方、まちづくりにおける活用方法について解説があった。また、様々な補助事業の活用ノウハウについて、具体的な手順や事例を交えて紹介があり、本市での取組の可能性があった。

④スマート小型モビリティによる地域の賑わい創出（久留米工業大学 東 大輔氏）

本講演では、地域の特性を活かした観光産業振興や高齢者・障がい者のファーストクウォーターマイル移動支援に役立つ自動運転小型パーソナルモビリティサービスにつ

いて紹介がありました。また、持続可能なビジネスモデル構築に向けた5つの視点「技術」「制度」「人材」「事業性」「社会受容性」の課題整理と今後の展望について解説があり、様々な課題があると認識し、今後の展望にも明るいと感じた。

⑤四日市市における次世代モビリティ実装とMaaS創出にむけて

(四日市市副市長 舘英二氏)

現在四日市市では中心市街地において、中心市街地において、駅前広場や都市公園の再編、バスタ四日市や新図書館の整備、大学誘致を含むJR四日市駅再開発など様々なプロジェクトが進められている。こうした大規模なインフラの改変を契機として、次世代モビリティの実装やMaaSの創出を産官学連携で推進しています。自動運転やパーソナルモビリティなど活用した社会実装など、これまでの取組や、今後の展望について紹介があった。改めて、視察研修に行く価値があると思った。

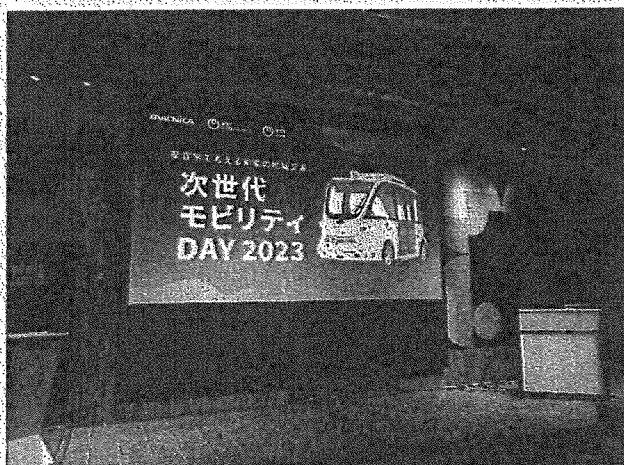
⑥自動運転の実現に向けた取り組みについて

(国土交通省自動車局自動運転戦略室長 林 健一氏)

国土交通省では自動運転の普及による交通事故の削減や地方交通の維持・改善・ドライバー不足の解決を目指している。本講演では自動運転の意義やレベル分けから日本国内における現状と課題を整理したうえで、自動運転レベル4の実現に向け、法規要件策定や実証事業支援などの今後の取組について紹介があった。

【自動運転EVバス、遠隔モビリティ管理システム見学】

7. 添付資料



※別添資料参照

会 派 内 供 覧

--	--	--